

地域おこし協力隊等ネットワーク化検討会議 第1回会議 概要

令和3年8月2日

岩手県ふるさと振興部地域振興室

1 地域おこし協力隊等ネットワーク化検討会議 第1回会議の概要について

開催日：令和3年7月30日（金）10：00～11：00

※ オンライン開催

出席者：地域おこし協力隊等OB・OG5名、市町村、岩手県、一般社団法人移住・交流推進機構（オブザーバー）、地域おこし協力隊サポートデスク 専門相談員（オブザーバー）

※ 詳細は別添出席者名簿のとおり

内 容：

(1) 挨拶

岩手県地域ふるさと振興部地域振興室地域振興課長

(2) 報告

- ・地域おこし協力隊等ネットワーク化検討会議設置要領【資料1】
- ・地域おこし協力隊等ネットワーク化検討会議設置要領第3に規定する検討会議の構成員について【資料2】
- ・地域おこし協力隊ネットワーク化検討の概要について【資料3】

(3) 協議

- ・地域おこし協力隊ネットワーク化に向けた今後の進め方について【資料3】

(4) 情報提供

- ・ネットワーク組織の機構・形態の素案について（岩手県地域振興室）
- ・他県ネットワーク組織の機能・活動内容事例紹介（一般社団法人移住・交流推進機構）
- ・意見集約、合意形成時の留意点（地域おこし協力隊サポートデスク 専門相談員）

(5) 質疑応答・意見交換

2 第1回検討会議の内容について

● 報告

- ・岩手県地域振興室から、【資料1】、【資料2】により会議の目的等を、【資料3】により、地域おこし協力隊等ネットワーク化の検討の契機及び目的を報告。

● 協議

- ・岩手県地域振興室から、【資料3】により、地域おこし協力隊等ネットワーク化に向けた具体的進め方及び今後のスケジュールについて提案。
- ・特段意見等は無く、今後提案内容に沿ってネットワーク化に向け取り組むこととされた。

● 情報提供

- ・岩手県地域振興室から、【資料4】により、今後実施するワークショップにおいて、現役隊員、協力隊等OB・OGによる検討の材料とするための「ネットワークの活動内容、機能、形態等」の素案を紹介。

▶（事務局）

お示ししたものはあくまでも現段階のたたき台である。ネットワークの活動

内容、機能、形態は、当事者である協力隊等の現役隊員、OB・OGのニーズ等によって決まるものであり、今後の検討により変化していくもの。

- ・一般社団法人移住・交流推進機構から、他県ネットワーク組織の機能・活動内容等の情報提供。
- ・地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員から、意見集約、合意形成時の留意点について情報提供

● 質疑応答・意見交換

(協力隊等OB・OG)

- ・他県のネットワーク組織では、地域おこし協力隊員の受入れ支援をしているとのこと。地域おこし協力隊の受入については岩手県内市町村でも課題となっていると認識しており、ネットワークは、そういう部分でも協力できれば。
- ・ネットワーク組織については、協力隊等の現役隊員、OB・OG、市町村の皆様に協力いただく必要がある。形だけ作るのではなく、中身の検討をしっかりと行っていきたい。
- ・目的は現役隊員の困りごとに伴走すること。ネットワーク組織を作ることは目的ではなく手段。
まずは生の声を聴き、それぞれの課題に寄り添いたい。
- ・ネットワーク組織を作ることは簡単なことではない。人と人とのつながりは実際に顔を合わせることでつくられていくものだと思うが、昨年から活動を始めた現在の現役隊員はその機会が恵まれていないと思われる。
現役隊員のフォローという面では、ネットワーク組織は貢献できる可能性があると思う。
- ・それぞれの隊員の活動内容や成果のPR・共有は、活動のモチベーションにつながる。隊員の活動を地域に知ってもらうためのPRにも取り組めればと思う。

(オブザーバー)

- ・岩手県内には中間支援組織が多数あると承知しており、うまく連携できる可能性があると考えます。
- ・各市町村におかれては、ネットワーク化に向けて是非御協力いただきたい。